



2024年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年6月30日

上場会社名 株式会社ダイセキ環境ソリューション 上場取引所 東・名
 コード番号 1712 URL <https://www.daiseki-eco.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 浩也
 問合せ先責任者 (役職名) 企画管理本部長 (氏名) 丹羽 利行 (TEL) 052-819-5310
 四半期報告書提出予定日 2023年7月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年2月期第1四半期の連結業績(2023年3月1日~2023年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第1四半期	6,641	97.8	891	375.3	884	370.5	546	688.9
2023年2月期第1四半期	3,356	△21.2	187	△61.1	187	△61.1	69	△75.8

(注) 包括利益 2024年2月期第1四半期 519百万円(121.8%) 2023年2月期第1四半期 234百万円(△33.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年2月期第1四半期	32.49	—
2023年2月期第1四半期	4.12	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年2月期第1四半期	27,600	16,351	55.2
2023年2月期	21,954	15,945	67.8

(参考) 自己資本 2024年2月期第1四半期 15,247百万円 2023年2月期 14,886百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年2月期	—	5.00	—	5.00	10.00
2024年2月期	—	—	—	—	—
2024年2月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年2月期の連結業績予想(2023年3月1日~2024年2月29日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	11,230	52.6	1,291	182.6	1,293	176.8	787	281.2	46.77
通期	18,395	12.0	2,037	48.2	2,041	44.4	1,178	62.5	70.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2024年2月期1Q	16,827,120株	2023年2月期	16,827,120株
2024年2月期1Q	14,301株	2023年2月期	3,181株
2024年2月期1Q	16,823,705株	2023年2月期1Q	16,798,899株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて判断しており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限の段階的な緩和が進んだことにより経済・社会活動が正常化に向かい、景気は持ち直しの傾向が続きました。一方で、長期化するウクライナ問題や外国為替市場での円安・ドル高及び物価高騰による影響で、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループの属する建設業界におきましては、政府建設投資が引き続き高水準を維持し、民間建設投資も製造業を中心に一部回復傾向が見られたものの、企業の設備投資マインドは引き続き慎重な状況が継続しております。

このような経済状況下において、当社グループの主力事業である土壌汚染調査・処理事業については、引き続き高付加価値案件の受注拡大に向け、コンサル営業を積極的に展開し、中京・関東・関西エリアで受注した大規模土壌処理案件が当社グループの業績を大きく牽引しました。また、廃石膏ボードリサイクル事業についても石膏ボード搬入量が堅調に推移した結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高6,641百万円(前年同期比97.8%増)、営業利益891百万円(同375.3%増)、経常利益884百万円(同370.5%増)となりました。また、過去に取得した土地の瑕疵担保補償に係る受取賠償金を特別利益へ計上したこと等により、親会社株主に帰属する四半期純利益は546百万円(同688.9%増)となりました。

セグメント別の経営成績は以下のとおりであります。

(土壌汚染調査・処理事業)

中京エリアの工場再開発案件によって、リサイクルセンターの稼働率が高い水準で進捗しました。また、関東エリアの大規模工場地中埋設廃棄物・汚染土壌撤去工事案件及び関西エリアの大規模工場廃棄物撤去コンサル案件についても、顧客への高付加価値サービスを提供することによって採算性が向上し、利益率の向上に寄与しました。その結果、売上高5,816百万円(前年同期比123.9%増)、営業利益1,009百万円(同493.4%増)となりました。

(廃石膏ボードリサイクル事業)

廃石膏ボードは、前年から引き続き入荷量が高水準で推移し、また、土壌固化材は、大型案件の受注により前年同期比で搬出量が増加した結果、売上高646百万円(同12.4%増)、営業利益208百万円(同15.6%増)となりました。

(その他)

P C B 事業は取扱量減少に伴う売上の減少、また、バイオディーゼル燃料(B D F)事業は売上は堅調に推移したもののコスト増加に伴い利益率が悪化した結果、売上高240百万円(同5.4%減)、営業利益28百万円(同11.1%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は27,600百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,645百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金、受取手形、売掛金及び契約資産及び株式会社杉本商事の連結子会社化に伴うのれんが増加したことによります。

当第1四半期連結会計期間末の負債は11,249百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,240百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金、未払法人税等及び長期借入金(1年内返済予定の長期借入金を含む)が増加したことによります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は16,351百万円となり、前連結会計年度末に比べ405百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が増加したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年2月期の連結業績予想につきましては、2023年4月5日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、2023年6月30日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	886	1,843
受取手形、売掛金及び契約資産	3,534	5,697
棚卸資産	325	367
その他	352	470
貸倒引当金	△4	△7
流動資産合計	5,094	8,371
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,786	5,984
土地	7,908	8,175
建設仮勘定	144	454
その他(純額)	1,943	1,868
有形固定資産合計	15,783	16,483
無形固定資産		
のれん	—	1,500
その他	29	122
無形固定資産合計	29	1,622
投資その他の資産		
その他	1,049	1,124
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	1,047	1,123
固定資産合計	16,860	19,228
資産合計	21,954	27,600
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,439	2,341
短期借入金	1,200	1,400
1年内返済予定の長期借入金	981	1,402
リース債務	91	85
未払金	351	602
未払法人税等	141	431
賞与引当金	144	236
その他	170	594
流動負債合計	4,520	7,095
固定負債		
社債	—	20
長期借入金	1,187	3,762
リース債務	150	139
役員退職慰労引当金	—	30
退職給付に係る負債	146	174
その他	3	27
固定負債合計	1,488	4,154
負債合計	6,008	11,249

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,287	2,287
資本剰余金	2,089	2,089
利益剰余金	10,260	10,722
自己株式	△2	△13
株主資本合計	14,634	15,086
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	252	160
退職給付に係る調整累計額	△0	△0
その他の包括利益累計額合計	251	160
非支配株主持分	1,059	1,103
純資産合計	15,945	16,351
負債純資産合計	21,954	27,600

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)
売上高	3,356	6,641
売上原価	2,717	5,081
売上総利益	639	1,559
販売費及び一般管理費	451	668
営業利益	187	891
営業外収益		
受取利息	0	0
補助金収入	—	0
受取保険金	—	0
鉄屑売却収入	2	0
その他	0	0
営業外収益合計	2	2
営業外費用		
支払利息	1	4
支払手数料	—	4
その他	0	0
営業外費用合計	1	9
経常利益	187	884
特別利益		
固定資産売却益	—	8
受取賠償金	—	67
その他	—	0
特別利益合計	—	76
特別損失		
固定資産除却損	2	—
減損損失	—	4
特別損失合計	2	4
税金等調整前四半期純利益	185	957
法人税、住民税及び事業税	70	416
法人税等調整額	△9	△70
法人税等合計	61	346
四半期純利益	123	610
非支配株主に帰属する四半期純利益	54	63
親会社株主に帰属する四半期純利益	69	546

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)
四半期純利益	123	610
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	110	△91
退職給付に係る調整額	0	0
その他の包括利益合計	110	△91
四半期包括利益	234	519
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	179	455
非支配株主に係る四半期包括利益	54	63

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。これによる四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年3月1日 至 2022年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	土壌汚染 調査・ 処理事業	廃石膏 ボード リサイクル 事業	計				
売上高							
中京	1,330	352	1,682	175	1,857	—	1,857
関東	548	—	548	10	559	—	559
関西	717	—	717	2	719	—	719
九州	—	219	219	—	219	—	219
顧客との契約から生 じる収益	2,595	572	3,167	188	3,356	—	3,356
外部顧客への売上高	2,595	572	3,167	188	3,356	—	3,356
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	3	4	65	70	△70	—
計	2,596	575	3,172	254	3,427	△70	3,356
セグメント利益	170	179	350	32	382	△194	187

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境分析事業、BDF事業、PCB事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△194百万円は、セグメント間取引消去5百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△200百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	土壌汚染 調査・ 処理事業	廃石膏 ボード リサイクル 事業	計				
売上高							
中京	2,909	433	3,343	161	3,505	—	3,505
関東	1,922	—	1,922	19	1,942	—	1,942
関西	982	—	982	2	984	—	984
九州	—	208	208	—	208	—	208
顧客との契約から生 じる収益	5,815	642	6,457	183	6,641	—	6,641
外部顧客への売上高	5,815	642	6,457	183	6,641	—	6,641
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	4	5	57	62	△62	—
計	5,816	646	6,463	240	6,704	△62	6,641
セグメント利益	1,009	208	1,217	28	1,246	△354	891

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境分析事業、BDF事業、PCB事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△354百万円は、セグメント間取引消去△131百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△223百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。